

県図なう。

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。

鹿児島県立図書館

平成29年5月15日 発行

第74号 （毎月15日発行）

<http://www.library.pref.kagoshima.jp>

Tel : 099-224-9511

ホットニュース

「親子読書研修会」の御案内

鹿児島県では、「第3次鹿児島県子ども読書活動推進計画」に基づき、「いつも身近に1冊の本を」をキャッチフレーズに「1日20分読書」運動を実施しています。県立図書館では、この一環として、親子読書の進め方や親子読書活動の在り方について学ぶ「親子読書研修会」を開催します。

日時：平成29年6月23日（金） 午後1時から午後4時25分まで

場所：かごしま県民交流センター（県民ホール）

内容：「おやこ一冊読書」について、取組発表・実演 等

講演 演題：「絵本作家の日常～思い出の一冊～」

講師：高島 那生 氏（絵本作家）

定員：600人

対象：地域の子どもの会等の育成者、親子会等の関係者、親子読

書会の関係者、保育園の保育士、幼稚園・小・中学校の教職員及び保護者、

公民館活動の関係者、公共図書館（室）の関係者、親子読書に関心のある方

申込方法：県立図書館や公共図書館（室）等に置いてある、「親子読書研修会」のチラシ裏の様式により郵送、FAX又はEメールで申し込むか直接お持ちください。（HPからもダウンロードできます。）

※ お近くの公共図書館（室）、学校又は幼稚園等ごとにまとめて申し込むこともできます。

申込締切：平成29年6月9日（金） 必着

『チーター大セール』（絵本館）でおなじみの高島那生さんの講演です。

読書グループによる発表もあります！



図書館で探そう、調べよう!

県立図書館の正面入口にある「薩摩辞書の碑」を御存じでしょうか。先日この薩摩辞書についての問い合わせがありました。薩摩辞書について調べると次のような内容が書かれています。

海外留学を熱望していた薩摩の学生、高橋新吉・前田献吉・前田正名らは留学費用を得るため、明治2年和訳英字書二千部を出版しました。英語熱の高まる当時、上海で印刷され「薩摩辞書」と称して非常に珍重されたということです。

薩摩辞書については、『鹿児島大百科事典』（南日本新聞社/出版）や『前田正名』（吉川弘文館/出版）などで歴史や特色について知ることができます。

県立図書館では復刻版も所蔵していますので、気軽に見ることができます。興味のある方は、2階閲覧室郷土資料コーナーで御覧になるか、2階調査相談カウンターへ御相談ください。

新着図書案内

《一般書》5月12日（金）

- 『田代安定』 名越護/著 南方新社
- 『風のかたみ』 葉室麟/著 朝日新聞出版
- 『子どもの防犯マニュアル』 舟生岳夫/著 日経BP社
- 『ぐうたら上等』 中野翠/著 毎日新聞出版
- 『落語百選 春』 麻生芳伸/編 筑摩書房

《児童書》5月23日（火）

- 『おもちゃのかたづけできるかな』 深見 春夫/作・絵 梶ヶ谷陽子/監修 岩崎書店
- 『ぼくの草のなまえ』 長尾玲子/さく 福音館書店
- 『サイアク!』 花田鳩子/作 藤原ヒロコ/絵 PHP研究所
- 『想像力のスイッチを入れよう』 下村健一/著 講談社
- 『僕は上手にしゃべれない』 椎野直弥/著 ポプラ社

催し物の御案内

○ 企画展 5月13日(土)～6月14日(水)

「社会教育施設パネル・クラフト展」

県内の8か所の青少年社会教育施設をパネルで紹介し、8施設分のクラフト作品を展示します。

○ 児童文化室ミニ展示 5月23日(火)～6月22日(木)

「かこさとしさんの本、集めました!～『だるまちゃん』50周年～」

「だるまちゃん」出版50周年を記念して、かこさとしさんの本を紹介します。



○ 一般閲覧室ミニ展示 6月1日(木)～6月30日(金)

「お手軽ストレス解消法」

マッサージやアロマテラピー、温泉などリラックス効果のあるものや食べたり歩いたりする等、簡単にストレスを解消できる方法を紹介します。

図書館職員のつぶやき

「武器より一冊の本をください」

皆さんはこの言葉を知っていますか。10歳のときから平和と子どもの教育の権利を広く訴えてきたパキスタン出身のマララ・ユスフザイさんが、2013年に国連演説をした時の言葉です。演説した7月12日は、マララさんの誕生日であり、「マララデー」とされ、全ての少年少女の権利のための日となっています。

私は、児童文化室のカウンターに立つことが多いのですが、子どもたちが読書にふける姿、保護者と本について語らう姿、友達同士で学習する姿を多く見かけます。そのたびに、この明るく楽しい雰囲気、平和で穏やかな日々がどうぞ、未来永劫続きますようにと祈り、その環境を守っていく使命感を感じているところです。

One child, one teacher, one pen and one book can change the world.

県立図書館に届いた『宝本エピソード』

今回紹介していただいた宝本は、林明子/作、「おつきさまこんばんは」（福音館書店）です。長女が生まれてすぐにいただいた本です。初めて読み聞かせに使ってみました。

はじめは、なんとなくという気持ちで読んでいましたが、子どもに言われ、何度も何度も覚えるほど読んでいる間に、すごく短い文の中にたくさん教えられることがあることに気付かされました。そして、長女もいつの間にか文章を覚えるようになり、本がなくても話せるようになりました。今は、三歳の長男も覚えて本を開きながら、読むまねをして遊んでいます。絵もすごくシンプルで、最初は親の私は「何がおもしろいんだろう・・・。」と思っていましたが、いつの間にか家族の宝物になり、月を見ると子どもが「おつきさまこんばんは。」と言うようになりました。



図書館クイズ

「大人になるまでにこれだけは読んでおきたい にじいろの本」の中の一冊、『りんごがひとつ』（ふくだすぐる/さく・え 岩崎書店）からのクイズです。

りんごをひとりじめにしていたおさが、りんごといっしょにうでにかかえていたのは、なにだったでしょう。

ヒント

うまれたばかりの子どもだよ。



答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、6月14日(水)までに投入してください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「バナナ」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
5月	14	15	16	17★	18	19	20◆
	21	22	23	24★	25	26	27
	28	29	30	31★			
6月					1	2	3
	4	5	6	7★	8	9	10
	11	12	13	14★	15	16	17◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日（白抜）：9時～17時

■ は、休館日。

○ は、学習室のみ開室（9時～17時）。

★ は、おはなしのじかん（毎週水曜日 15時30分～16時）。

◆ は、土曜版おはなしのじかん（第3土曜日 14時～）。

◇ は、一般閲覧室新着図書の日（5月31日、6月15日【予定】）。

□ は、児童文化室新着図書の日（5月23日）。